

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム **NIFREL**

## 5周年を迎える『ニフレル』に新ゾーンが誕生 『およぎにふれる』2月28日(金)オープン ～2月26日(水)・27日(木)にプレスプレビューを開催～



影を使った演出で、多様な「泳ぎ」を浮き立たせる「およぎにふれる」(イメージ)

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、2020年11月に開業5周年を迎えるにあたり、様々なイベントや異業種とのコラボレーションを展開し、お客様の“感性にふれる”新しい発見と共感をお届けします。

その第一弾として、2020年2月28日(金)に、生きものたちの多様な“泳ぎ”をテーマとした新たなゾーン「およぎにふれる」をオープンします。体全体をくねらせたり、波打つようにヒレを動かしたり、ダンスするようにヒラヒラと泳ぐ行動を、「影」を使ったニフレルならではのアーティストティックな空間演出で浮き立たせ、新たな視点で生きものたちの魅力をお伝えします。

ニフレルは、海遊館がプロデュースする、水族館や動物園、美術館のジャンルを超えた、これまでにない“感性にふれる”ミュージアムです。その特徴の1つに展示の可変性を持っており、館内の一部ゾーンで展示を全面変更できる仕組みを備えています。今回は「すがたにふれる」が「およぎにふれる」に生まれ変わり、さらに2021年にも新たなゾーンが誕生します。

なお、新ゾーンの誕生は、2019年3月1日の「かくれるにふれる」に続き2回目となります。

### 【プレスプレビューのご案内】

2月26日(水)・27日(木) 9:00～12:00

取材・撮影をご希望の方は下記までお問い合わせください。

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 田井、西前

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL:nifrel.pr@nifrel.jp

## 新ゾーン「およぎにふれる」オープンにあたって

人を含む全ての生きものは多様で個性的だからこそ魅力的です。

そんな思いから、ニフレルでは、多様性をテーマに各展示ゾーンを構成しています。  
例えば、「いろにふれる」では色彩の多様性、「うごきにふれる」では行動の多様性がテーマです。

今回は、「泳ぐ」という行動にフォーカスを当てました。  
水中という重力に縛られない環境で進化適応した生きものたちは、多様な「泳ぎ」を生み出しました。  
ニフレルならではの「影」による空間演出で、生きものたちの「泳ぎ」に新たな視点で  
気付いて頂きたいと思います。

ニフレルで暮らす生きものたちの魅力に気付く事が、  
人を含む全ての生きものの個性を認め合う気持ちに繋がることを願っています。

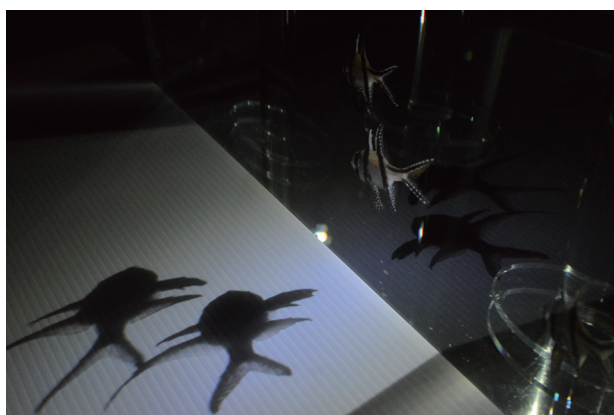
生きているミュージアム・ニフレル館長  
小畑 洋

## 【ニフレルならではのアーティスティックな空間演出】

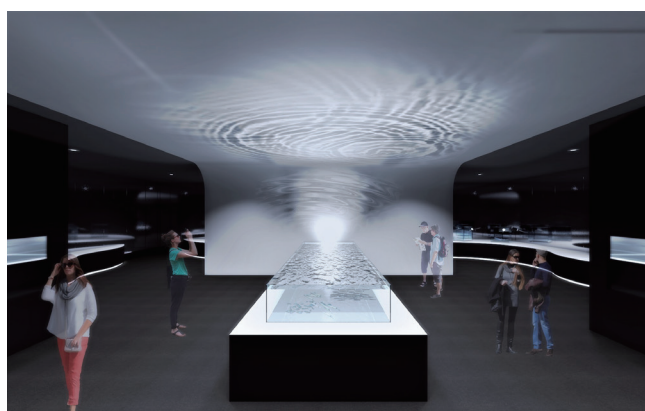
「およぎにふれる」では、「影」を使った空間演出で「泳ぎ」の多様性を表現します。影という単色でシンプルなものを使うことで、生きものの「泳ぐ」という行動が浮き立つ、との考えです。

例えば、田んぼを泳ぐオタマジャクシの黒い影。太陽の日差しが、滑らかな泥の表面にくっきりと影を映し出し、体全体をくねらせて「泳ぐ」行動に、自然と注目することができます。

さらに、水滴が作り出す美しい水紋を天井や壁面に投影し、生きものたちが暮らす水の世界に共存する気持ちになっていただきたいと思います。



影を使った空間演出実験の様子



天井や壁面への水紋投影のイメージ

【「およぎにふれる」で展示する生きものたち】

魚類をはじめ、カメやクラゲなど、「多様なおよぎ」を持つ生きものたち合計13種86点を、11台の水槽で展示します。

※展示種・展示数は生きものの状況により変更する場合があります。

<主な展示生物>

①波打つようにヒレを動かしておよぐ



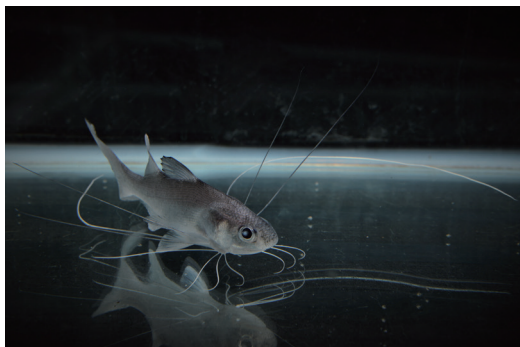
ブラックゴーストナイフフィッシュ

②体を開いたり閉じたりしておよぐ



ブルージェリーフィッシュ

③長い胸ビレを広げて優雅におよぐ



スレッドフィン・パラダイスフィッシュ

④体をくねらせてによるによとおよぐ



コンビクトプレニー

⑤ストップ&ゴーで直線的に素早くおよぐ



フタスジタマガシラ

⑥両手両足を使って歩くようにおよぐ



ジーベンロックナガクビガメ

⑦ダンスするようにヒラヒラとおよぐ



チョウチョウコショウダイ

⑧上下のヒレを同じ方向に動かしてパタパタとおよぐ



ブロンズパッファー



## 【進化し続けるミュージアム「ニフレル」】

ニフレルは、名称の由来ともなった「感性にふれる」をコンセプトに、水生生物や陸上動物など、地球が育む多様ないのちと個性のつながりを自由な発想で表現し、ニフレル自身も生きもののように進化し続けるミュージアムとして誕生しました。

館内の一部ゾーンでは、展示を全面変更できる「可変性」を備えており、2019年3月に開業以来最初の展示変更として、生きものたちの隠れる能力に焦点をあてた「かくれるにふれる」が誕生しました。さらに、2021年にも新たなテーマを持ったゾーンが誕生する予定です。



改装前の「すがたにふれる」ゾーン。  
光のドットが無限に続く空間演出で、生きものたちの不思議な「すがた」をアーティストックな水槽で表現しました。

### ＜海遊館・天保山マーケットプレースは30周年、ニフレルは5周年＞ ～2020年はアニバーサリーイヤー～

2020年、「海遊館」と「天保山マーケットプレース」(大阪市港区)は30周年を、生きているミュージアム「NIFREL (ニフレル)」(大阪府吹田市)は5周年を迎えます。この記念すべき年に、世代や国籍を超えたすべてのお客様に、わくわくする体験や日常の中にある非日常の喜びを感じていただけるよう、共通スローガンを「まいにち奇跡。」と定め、アニバーサリーイヤーを盛り上げてまいります。

なお、記念イベントや記念特別展などにつきましては、改めてお知らせいたします。

## まいにち奇跡。

